土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　二級河川二河川水系椎川支川外砂防工事に伴う全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

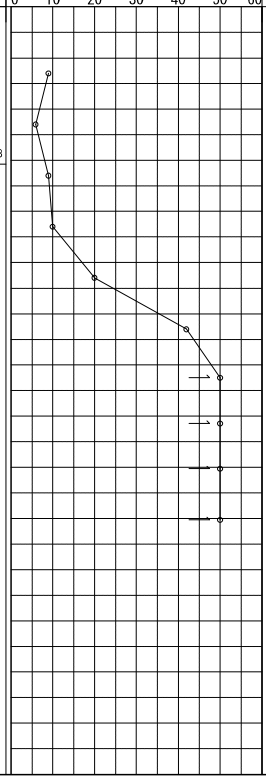
調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	苗渋川R2-BN-3	調査位置	広島県安芸郡熊野町萩原　地内	北緯	34° 20' 49.0960"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 9月 8日～ 令和2年 9月11日	東経	132° 35' 46.6269"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 269.72m	角度	180°上 90° 0°下 0°	方向	0°北 0° 270°西 90°東 180°南
総削孔長	10.00m	地盤勾配	10° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：YBM 1WA型 / エンジン：ヤンマー TF90V-E型 / ポンプ：YBM GP-5型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	269.22	0.50		玉石混り砂礫		黄褐	rd2		土石流堆積物(新期崖錐堆積物) ・最上位は暗褐の腐葉土及び褐灰の崩積土 ・玉石は確認石長L=10cm程度が混入 ・礫はφ20ー50mm程度の中ー粗礫	
1				礫混り砂質土		黄褐	rd2		土石流堆積物(新期崖錐堆積物) ・基質支持を示す ・礫は中ー粗礫が混入、クサリレキ点在	
	267.92	1.80							角閃石黒雲母花崗岩強風化土(DL) ・風化変質が進行し岩質は著しく軟質化 ・原岩組織はやや明瞭に残存 ・採取試料は土砂状を呈す	9/11 8:08
2 3 4 5				花崗岩		黄褐				
6	263.72	6.00							角閃石黒雲母花崗岩風化土(DM) ・原岩組織は明瞭に残存 ・上位より固結度を増し採取試料は土柱状を呈すが脆く、指圧で凹むうえ容易に圧潰される	
				花崗岩		黄灰				
7	262.72	7.00							角閃石黒雲母花崗岩強風化岩(DH) ・GL-9.00-9.50m間、濃緑灰の暗色包有物 ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するが、長石類及び熱水脈の粘土化若干進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈す ・上位同様、強指圧で凹み容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化 ・GL-8.45-8.60m間、黄灰色の熱水脈痕	
8 9				花崗岩		黄灰				
10	259.72	10.00								
11 12 13 14 15										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
9	1.15	3	3	3	9/300		
6	1.45 / 2.15	2	2	2	6/300		
9	2.45 / 3.15	3	3	3	9/300		
10	3.45 / 4.15	4	3	3	10/300		
20	4.45 / 5.15	6	7	7	20/300		
42	5.45 / 6.15	12	14	16	42/300		
50以上	6.45 / 7.15	21	29		50/200	200	
50以上	7.35 / 8.10	50			50/90	90	
50以上	8.19 / 9.00	50			50/60	60	
50以上	9.06 / 10.00	50			50/50	50	
	10.05	50					

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				9/9
				9/10